



アブラハムを召し出すことから始まった神の救いは、イエスキリストにおいて実現しました。イエスこそ、神が私たち人間に与えてくださった救い主キリストです。その救いの実現を書き記しているのが新約聖書、特にその最初の福音書です。「福音 Gospel」とは「良い知らせ」。イエスキリストとは誰なのか。そしてそのイエスキリストが与えてくださった救いとは。その「良い知らせ」を福音書の最も有名なみことばの一つから味わいましょう。

“神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。神が御子を世に遣わされたのは、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。” 3:16-17

① 受肉されたイエスキリスト

“アブラハムの子、ダビデの子、イエス・キリストの系図。アブラハムがイサクを生み、イサクがヤコブを生み、ヤコブがユダとその兄弟たちを生み、…ヤコブがマリアの夫ヨセフを生んだ。キリストと呼ばれるイエスは、このマリアからお生まれになった。” マ11:1-16

“ことばは人（肉）となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。父のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。” ヨハ1:14

② 仲介者としてのイエスキリスト

“神は唯一です。神と人との間の仲介者も唯一であり、それは人としてのキリスト・イエスです。キリストは、すべての人の贖いの代価として、ご自分を与えてくださいました。これは、定められた時になされた証しです。” 1テ2:5-6

“…それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。…（それは）、世をさばくためではなく、御子によって世が救われるためである。”

③ あがない主としてのイエスキリスト

“それからイエスは、人の子は多くの苦しみを受け、長老たち、祭司長たち、律法学者たちに捨てられ、殺され、三日後によみがえらなければならないと、弟子たちに教え始められた。” マ18:31

“私があなたがたに最も大切なこととして伝えたのは、私も受けたことであって、次のことです。キリストは、聖書に書いてあるとおりに、私たちの罪のために死なれたこと、また、葬られたこと、また、聖書に書いてあるとおりに、三日目によみがえられたこと、また、ケファに現れ、それから十二弟子に現れたことです。その後、…” 1コリ15:3-

<考えてみましょう>

・救い主が人となってこの世に来られた意味について、「神のかたち」の回復という点から考えてみましょう。